

東工グローバル人材育成プロジェクト

くものづくり教室（英語版） ぶるぶるモーターであそぼう

岡山県では「グローバル人材育成プログラム」を「新晴れの国おかやま生き生きプラン」の新たな戦略プログラムとして位置づけ、学校教育を通じて、日本人としてのアイデンティティを持ち、豊かな語学力やコミュニケーション能力、チャレンジ精神や異文化を理解する精神等を育み、将来様々な分野で活躍するグローバル人材の育成を目指しています。

今年度、本校では工業高校の特色である「ものづくり」を取り入れながら、グローバル人材の育成を推進するために「東工グローバル人材育成プロジェクト」を立ち上げました。機械科・電気科・電子機械科・工業化学科・設備システム科の専門五科の教員と英語科の教員、そして課題研究班と公募で集まった一年生～三年生の十五名の生徒がプロジェクトメンバーとなり、一年間活動しました。十一月には、岡山市立幡多小学校で工作クラブ四年生～六年生の二十五名の児童を対象に「ものづくり教室（英語版）」ぶるぶるモーターであそぼう」を開催しました。本校の生徒が指導者となり、簡単な英語で使用する道具（例：ペンチ pliers、色鉛筆 colored pencils など）や作業（例：棒を切る cut a stick、スイッチを押す push a switch など）を説明し、小学生と一緒にぶるぶるモーターを製作しました。その後、自作のぶるぶるモーターを使って、The SUMO game（相撲ゲーム）や Color Tag（色おに）など英語でゲームを楽しみました。初めての試みではありましたが、参加した本校生徒からは「最初は不安だったが、ものづくりの楽しさを英語で小学生に伝えられたことが自信となった」「自分のコミュニケーション能力が上がった」「自分の英語が相手に伝わった時の喜びを知った」など成長を感じられる声が多く寄せられました。今後、生徒がグローバル人材として成長していくことを期待しながら、メンバー一同でプロジェクトを推進していきたいと思っています。



あいさつ →



英語で説明 →



ぶるぶるモーター製作 →

